



木曾中学校だより

2026年度－4月号－

令和8年4月13日発行
町田市立木曾中学校
校長 大山 茂登

Tel. (042) 792-3081
木曾中で育もう15歳のあるべき姿を

2026年度のスタートにあたって

校長 大山 茂登

令和8年度の希望に満ちた新学期が始まりました。本校は今年で44年目を迎えました。4月8日には130名の新入生を迎え、進級した2,3年生を合わせて334名の生徒で新年度がスタートいたしました。今年度より学区の改変が行われ、例年より多くの新入生を迎え入れることができ、1年生が4クラス、2,3年生が3クラスとなり、学校全体で全10クラス体制となりました。それでも、町田市の中では比較的小規模な学校で、学習指導も生活指導も、多くの教員が学年を越えて指導に当たることとなります。各教員が学校全体の生徒に目を配ることができる体制が木曾中学校の強みといえ、教職員は一丸となって指導、支援を行ってまいります。

○確かな学力の育成に向けて

本校では、授業改善を推進し、基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得とともに、思考力・判断力・表現力などの育成を目指して、校内研究を進めています。今年度も、主体的・対話的で深い学びを実現し、生徒一人ひとりの学びを充実させる取り組みを進めていきます。

生徒の学ぶ意欲を高め、学習習慣の定着を図るために、QubenaなどのICT機器を効果的に活用していきます。また、学習規律や板書の共通理解を促進し、安心して学べる授業づくりに努めていきます。さらに、ユニバーサルデザインの視点を取り入れることで、すべての生徒が安心して学習できる環境を整えていくための校内研究も引き続き取り組んでいきます。

生徒が「わかった」「できた」と実感できる授業を目指し、主体的に学ぶ機会を設けていきます。対話を重視した深い学びを計画的に進め、学習意欲の向上を図っています。教員も授業力向上のための研修や校内研究を積極的に行い、「学び続ける力」の育成に努めています。ICT機器を活用した授業改革や教員間の連携強化を通じて、生徒理解を深め、より良い学習環境を整えていきます。

○生活指導における取組

学校は、いじめを絶対に許さないという共通認識のもと、道徳教育や心のアンケート、スクールカウンセラーや保護者、地域との連携を強化し、早期発見・対応に努めます。年間3回のいじめ防止授業や担任による個人面談を通じて未然防止を図り、教職員は生徒の変化に注意を払い情報共有を徹底します。いじめ事案が発生した場合は、迅速に対応チームが組織的に解決にあたります。

また、自殺予防のために命の大切さを学ぶ授業や、SOS発信の指導を継続し、命の重みを理解させる体験活動を行い、自尊感情の向上と自己の生き方について考える機会を提供します。

さらに、不登校生徒には巡回教員を中心に状況を共有し、個別対応や理解促進のための校内研修を実施します。地域ボランティアと連携し、「エンカレッジルーム」を毎日運用し、不登校気味の生徒が登校しやすい環境を整え、保護者や関係機関とも連携して支援にあたります。

○進路指導・キャリア教育

上級学校や外部と連携した進路指導やガイダンスを行い、適切な情報提供と丁寧な面談を通じて生徒の進路意識を高め、自ら進む道を切り開く力と意思決定力を育成します。職業講話や職場体験、キャリアパスポートの活用により、自己肯定感や望ましい職業観を育み、MSEを活用して社会的・職業的自立

に必要な能力を養います。さらに、ものづくり教育を実践し、体験活動を通じて創造力や実践的態度を育成します。これらの活動を含め、3年間を見通したキャリア教育の体系を進路学習部が整備・充実させていきます。

町田市では、2021年より、市内すべての公立小中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティスクールとしてスタートしています。「地域とともにある学校づくり」を目標に、生徒、教職員、保護者、地域が一丸となって取り組む学校づくりに尽力しています。今年度も地域とともに歩む木曽中学校を目指し、教育活動を進めてまいります。今年度も木曽中学校に通う生徒の健全育成のために、木曽中学校の教育活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。